

## 市川で、一枚

第1回



## 一生懸命な小学生へ、夏休み最後にご褒美を

—父の名を冠した「松木杯」の写真—

松木杯も今年で24回目。ということは、父が他界して24年経ったことになるんですね。生前、父は僕を応援する一方で、地域のお子さんたちが少しでもいい環境でサッカーができるようにと願っていました。父が他界した翌年、その遺志を継ごうと、地域の学校の先生方が手弁当で始めてくれたのが松木杯。ですから松木安太郎の大会ではなく、父の名を冠した大会なんです。

もともとは小学校最後の夏休みに6年生の控え選手が出場するので、勝ち負けではなく、いい経験をさせたいというのが趣旨。その年頃は僕も決していい選手ではなく、とにかく元気があって一生懸命やるタイプでした。また、この大会に出た何人かがJリーガーになっていますよね。だから今はそんなに上手くないお子さんでも、可能性は本当にたくさん秘めているんですよ。

ここ何年かは優勝するためにみんな練習してきますが、プロになりたい、強いチームになりたいという方向へ走り過ぎると、サッカーが好きなのに続けられない子も出てくる。でも、この年代で大事なことは、ミスを恐れず自分の力を一杯グラウンドで出すこと。僕は、夏休みのご褒美として少しでもいいグラウンドでプレーさせてあげたいし、お子さんたちが夢や目標をじっくり探せるように導いてあげたい。そう考えると、松木杯の優勝カップはいららないんじゃないかとも思います。その分、もっと個人的な賞を、みんなにあげられるといいなと。とくに今後はこういう趣旨の大会がますます重要になってくるでしょうから、いろいろな方の協力をいただいて盛り上げていけたら嬉しいですね。これからも、人間が成長していくうえで大切な年代なのだということを絶対に忘れないで、松木杯を継承していきたいと思っています。

サッカー解説者 ● 元サッカー日本代表  
松木 安太郎さん



1957(昭和32)年11月28日生まれ、市川市在住(東京都出身)。元サッカー日本代表/元ヴェルディ川崎・セレッソ大阪監督。16歳で読売サッカークラブのトップチームに最年少選手として登録されて以来、ファイト溢れるDFとして鳴らした。現役時代は日本リーグ1部で208試合に出場し7得点。日本代表でもサイドバックとして活躍した。現役引退後は、ヴェルディ川崎の監督に就任、93、94年と発足直後のJリーグで連覇を果たした。現在はサッカー解説者など多方面で活躍中。

著書紹介/『すぐまねしたい欧州サッカートッププロの突破力・決定力・判断力』(成美堂出版)、  
『コーチングBOOKサッカー』(成美堂出版)、『サッカー上達マニュアル』(産調出版)、『遊YOU  
キッズサッカー』(ベースボールマガジン社)など多数。